



CitrixがWrikeを買収 新時代の画期的なデジタルワークスペースの提供で新しい働き方を実現

業界をリードするCitrixのワークスペースプラットフォームと WrikeのSaaSワークマネジメントソリューションを統合し、クラウド戦略をさらに加速

本リリースは2021年1月19日米国で発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

フロリダ州フォートローダーデール発 - Citrix Systems, Inc. (NASDAQ:CTXS)は米国時間1月19日、SaaS型ワークマネジメントで急速に成長しリーダー企業として認知度の高い[Wrike \(ライク\)](#)を、22億5,000万ドルの現金で買収する最終契約を締結したことを発表しました。また、Citrixは2020年12月31日を末日とする第4四半期と会計年度の業績も発表し、Investor Relationsウェブサイト (<http://www.citrix.com/investors>) に業績レターと投資家向けプレゼンテーションを含む資料を掲載しました。

今回の買収により、従業員が生産性を高めるために必要なリソースにアクセスするために、統一されたエクスペリエンスで安全に提供するCitrixの[デジタルワークプラットフォーム](#)と、コラボレーションと業務遂行から無駄を省くWrikeの革新的な[ワークマネジメントソリューション](#)が統合されます。また、Wrikeのクラウドへのデリバリー機能が加わることで、Citrixのクラウドへのビジネスモデルの移行が加速し、企業内のさまざまな職種のニーズに対応する、完全なSaaSベースのワークプラットフォームの提供が可能になり、Citrixが推進するクラウド戦略がさらに加速されます。

統合後の両社は、相互に補完的なソリューションを通じてお客様への価値提案をさらに強化します。既存のお客様に加え、マーケティング、プロフェッショナルサービス、人事分野などの新たなお客様に対して新しい収益機会を作ります。CitrixとWrikeを合わせたお客様は世界140カ国40万社に及びます。また買収が完了後、WrikeはCitrixの強力な[パートナーエコシステム](#)を利用できるようになり、お客様への付加価値をさらに拡大する新たな機会をエコシステム内で作り出すことが可能となります。

仕事の未来を実現する

Citrixのプレジデント兼CEOであるデビッド・ヘンシャル (David Henshall) は次のように述べています。「今日の仕事は自宅、オフィス、外出中でも、あらゆる場所で行われています。将来的に成功を収めるには、柔軟でハイブリッドなワークモデルをサポートし、仕事から複雑さや不要な情報を取り除くことが重要です。つまり、従業員がどこにいても業務に集中して最高のパフォーマンスを発揮でき、一貫性のある安全で効率的なエクスペリエンスを提供できる企業である必要があります。CitrixとWrikeのソリューションが統合されることで、クラウド型のデジタルワークスペースのエクスペリエンスが強化された製品やサービスが提供され、従業員はコラボレーションに必要なリソースとツールに安全にアクセスできるようになり、あらゆるチャンネル、デバイス、場所で、最も効率的かつ効果的な方法で業務を遂行できるようになります」

デジタルワークスペースを拡大する

Citrixは市場をリードするデジタルワークプラットフォームを通じ、あらゆる場所で仕事を進めるために必要なシステム、情報、ツールへの統一された安全で信頼性の高いアクセスを提供しています。WrikeのソリューションがCitrixに加わることで、チームコラボレーションの自動化・合理化、すべての従業員の

ワークフロー統一、業務実行の簡素化、従業員の有効性と生産性向上など、プラットフォーム拡張によりコラボレーションが強化された画期的なワークマネジメント機能が提供されます。

Wrikeの創業者兼CEOであるアンドリュー・ファイレブ（Andrew Filev）は次のように述べています。

「CitrixとWrikeは仕事から複雑さと混乱を軽減し、すべての人、チーム、組織が最高のパフォーマンスを発揮できるようにするという共通のビジョンとミッションを「未来の働き方」に関して持っています。両社が手を組むことによって未来のワークスペースを実現し、ワークエクスペリエンスを真に変革すると共に、目標を超えてビジネスを前進させるための革新的なソリューションを人々に提供できると確信しています」

Wrikeについて

カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、1,000名を超える従業員を擁するWrikeはVista Equity Partnersのポートフォリオ企業であり、世界中の約18,000社のお客様に向け、チームや分散した従業員が大規模な作業を計画、管理、および効率的に完了することのできるワークマネジメントソリューションを提供しています。Wrikeは2021年に1億8,000万ドルから1億9,000万ドルの未監査年間経常収益（ARR）をSaaSから計上して単独で約30%の成長を遂げ、またCitrix傘下となることによって今後さらに成長を加速する機会が得られると予想されています。

財務詳細

Wrikeの2020年末時点での未監査SaaS ARRは1億4,000万ドルを超え、これは過去2年間に30%を上回るCAGRをSaaS ARRにおいて達成したことに相当します。また、同社は2021年にSaaS ARR領域で約30%の成長を単独で遂げ、その額はSaaS ARRは1億8,000万ドルから1億9,000万ドルに達する*[1]と予想しており、またCitrix傘下となることによりさらに成長を加速する機会があると見込んでいます。WrikeはCitrixの既存のお客様にとって非常に補完的な位置付けにあり、CitrixのSaaS ARRの成長をさらに加速すると期待されます。

資金調達と購買会計による前受収益への影響は、2021年の非GAAP 1株当たり利益に影響を及ぼします。統合およびその他の買収関連の費用は、2021年の非GAAP1株当たり利益に若干の希薄効果を及ぼします。この買収によるCitrixの2022会計年度の非GAAP1株当たり利益とフリーキャッシュフローへの影響は中立的であり、それ以降は押し上げ効果をもたらす見込みです。

Citrixはこの買収の資金を新規借り入れ、手持ち現金、および投資の組み合わせにより調達する予定です。Citrixは投資グレードの与信格付を維持することを約束しており、24カ月以内に従来のレバレッジ水準に復帰する計画です。CitrixはJPMorgan Chase Bank, N.A. から、14億5,000万ドルの優先無担保364日間ブリッジローンのコミットメントを得ています。

この買収はCitrixとWrikeの両方の取締役会において満場一致で承認され、許認可およびその他の一般的な締結条件が満たされることを前提として2021年上半期中の完了を予定しています。完了までの間、両社は独立して事業を継続します。完了後はファイレブが引き続きWrikeチームを率い、CitrixのEVP兼最高財務責任者であるアーレン・シェンクマン（Arlen Shenkman）に直属となります。

顧問団

この買収に関するCitrixの財務顧問はJ.P.Morgan Securities LLCが、法務顧問はShearman & Sterling LLPが務めます。Wrikeの財務顧問はGoldman Sachs Group & Co.が、法務顧問はKirkland & Ellis LLPが務めます。

カンファレンスコールについて

Citrixは米国東部時間1月19日午前8:15から金融アナリストおよび投資家向けにカンファレンスコールを開催し、この買収と共に2020年12月31日を末日とする第4四半期と会計年度の収益について説明しました。このカンファレンスコールはCitrix企業ウェブサイトのInvestor Relationsセクション (<http://www.citrix.com/investors>) からアクセスすることができ、また業績、四半期ハイライト、および事業見通しを説明した第4四半期および2020会計年度の業績レターと、投資家向けプレゼンテーションも掲載されています。

#

<Citrix製品に関するお問合せ> <https://www.citrix.com/ja-jp/contact/form/inquiry/>

【ソーシャルアカウント】

- Twitter : https://twitter.com/citrix_jp
- Facebook : <https://www.facebook.com/CitrixJapan/>